

令和7年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名: 福祉センター錦溪苑

指定管理者名: 社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	S	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	S	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	S	A
	利用者の安全は確保されているか。	S	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書(申請時)および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S: 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A: 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B: 協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C: 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	0	0	0	0	
	物品販売収入	0	0	0	0	
	手数料収入	0	0	0	0	
	指定管理料	65,838,000	65,838,000	0	65,743,000	
	その他収入	24,000	18,610	5,390	23,420	タオル、石鹸など
	収入総額	65,862,000	65,856,610	5,390	65,766,420	
支出	人件費	19,130,000	21,750,477	(2,620,477)	24,461,916	
	賃金	6,846,000	6,536,226	309,774	3,801,968	
	報償費	707,000	558,550	148,450	692,630	
	消耗品費・器具什器費	481,000	480,375	625	583,688	
	燃料費	504,000	526,557	(22,557)	494,866	
	印刷製本費	110,000	102,940	7,060	66,770	
	光熱水道費	11,900,000	12,080,876	(180,876)	11,591,936	
	修繕費	250,000	292,435	(42,435)	796,460	
	委託料・保守料	17,988,000	18,077,831	(89,831)	16,875,878	
	役務費	623,000	735,039	(112,039)	721,808	
	賃借料	7,323,000	6,202,028	1,120,972	6,256,584	
	支出総額	65,862,000	67,343,334	(1,481,334)	66,344,504	0
収支差額		0	(1,486,724)	0	(578,084)	0

3. 総合評価

自己評価
○令和7年度は、市と調整し、感染症対策に配慮した対応を行った。 広報紙「錦湊苑だより」へ施設設備やセンタークラブ活動の掲載、歴史講座や終活講座といった教養講座の企画、ロビーコンサート、福祉センターまつりの開催によりセンター事業およびクラブ活動の活性化を図るとともに、利用者の見守り強化のための福祉なんでも相談等の周知啓発およびアンケート調査を実施し利用者の現状把握を行うことができた。 ○利用者のニーズに添った事業を展開するため利用者へのアンケートや当事者団体からの聞き取りなどを実施するとともに、より利用満足度が増すよう運営委員会などの意見も反映し、利用者の立場に立ったサービスの向上を図った。 ○理学療法士による健康運動教室や看護師による血圧測定、医師による健康相談(福祉なんでも相談)を実施し、健康維持に努めた。
市評価
○令和7年度の事業運営につきましては、利用者の健康維持・増進および地域交流の促進に向け、多角的な視点から工夫を凝らした取り組みがなされたと評価いたします。特に、利用者ニーズの吸い上げから施策への反映というサイクルが機能しており、センターの活性化に大きく寄与したものと認めます。 ○広報紙を通じた活動の発信や、各種講座・イベントの開催は、センターの認知度向上および利用促進に直結する重要な取り組みでした。特に、福祉なんでも相談の周知やアンケートによる現状把握は、センターの基盤である「福祉拠点としての機能」を再確認する上で有意義でした。 ○運営委員会やアンケート、当事者団体からの聞き取りを通じ、利用者の意見を運営に直結させる姿勢は、指定管理制度の趣旨に合致しており、利用者の満足度向上に資する取り組みとして評価します。